

新南知多中学校建設に関わる住民説明会の概要

【内海・豊浜・師崎地区】

日 時 令和6年5月25日（土） 午前10時00分～午前11時00分
場 所 役場 大会議室
参加者 27名

内海・豊浜・師崎地区 主な意見

Q：新校舎建設の場所はもう決定で、変更する可能性はないのか、例えば法面の保護とか、既設校舎の取り壊しの必要のない場所は他に検討されているのかどうか教えてください。

A：学校建設にあたりましては、町の真ん中にある豊浜地区に新校舎を建設することが最善だと考えております。現在、校舎に係る建設費が高騰しています。また、あらたに法面保護対策が必要となりました。そういった当初と比べて想定していなかったことが新たに出てきているものですから、まず先ほど申し上げましたとおり、旧豊浜中学校で建設することを前提にいたしまして、修正案をお示しさせていただきたい。その中で皆さんとお話した中で、今後、他の土地も考えたらどうだと話が出てきたときには、そういったところも検討していくことを排除するものではございません。今はまずは、現在の旧豊浜中学校でどのようであれば建てられるのか、こちらのほうを検討させていただきたいということでございます。

Q：豊浜に造るのが基本的な考え方だというお話で進めていくということでしたが、今の全体の話聞いていますと相当コストがかかる、さらに上がるのではないかと考えた中で、最初に総合評価したときには豊浜が最適だということだったと思うのですが、さらに再評価をして、もう1回例えばゼロベースといいますか、豊浜ありきではなく、1番いいベストをもう1度再評価するという考えはありますか。

A：まずは旧豊浜中学校での修正案を出すべきだと思っています。それに対して、他のところも含めて検討していくべきだと考えています。ですから白紙とは言いませんが、そのような状況になれば他の場所も考えていかないと、これだけ建設費が膨らんだ中で、町も学校建設だけにお金を使うわけにはいきません。ただし、南知多町の小中学校すべてが老朽化しています。そういう中で新しい学校をどこに建てるかを抜きにして考えることはできません。南知多中はもって20年ぐらいだと思っています。ですからどこかに造らなければいけないということを前提に、今後その辺をどう考えていくか、これに尽きると思っています。

Q：まずは人口が減っている南知多の中で子どもがさらに減っています。その南知多を背負っていく子どもたちが教育として育てていくためには今までの既存のところではなかったかという、まずは統合していただいて、色々な実地交流することによって子どもの人間形成ができてきて将来の南知多を背負っていただける子どもを作ることは

ありがたいと考えていますし、よかったなと基本的には思っています。ただ、よかったからなんでもいいのかとはちょっと違って、たとえば町民税が今年の当初予算で8億を切っていますよね。ですから、全額使ったとしても町民税、全町民が払っている町民税が5年分丸々ゼロになってやっとなるかどうかという莫大な金額になっているわけです。なおかつ、今払っている人たちがもっと減っていくわけですよね、そういう中でなんでもかんでも造るとかやるといったときにそういうことを考えていただいたことは大事なことだとは思いますが、お金をかけたならかけただけの効果があるかどうかということを検証していく必要性があるかと思っています。それが今回計画する場所は、そこにできたときに、町外のいろんなクラブの練習だとか合同練習だとか、こちらは通学のバスを使っていただけますけども、向こうから来るかということ、そんな大金使って計画自体から排除されているところです。お金を使って子どもの環境をよくするならわかるけど、悪くすることに一生懸命に使って通常やっていただけの行政サービスが減ってしまうことが正しい選択なのかどうかを考えるときには一度立ち止まってもう一度見直していただかなければいけないのではないかと考えております。それから子どもが一緒になったことは本当にありがたいことだし大事なことです。お金をかけるのであれば、かけただけよくなるなら分かりますよ。かけて悪くなる環境を一生懸命どうやって払おうかだとか大人のエゴのためにお金ばかりかけて子どもが悪くなっていくことを選択する考え方を一度やめていただいてゼロベースでもう一度考えていただけたらありがたいと思いますのでよろしくお願いします。

A : ゼロベースからという話なのですが、まずはゼロベースにするにしても、今現状皆様の同意のもとに旧豊浜中学校へ造ろうという中で、いままで旧豊浜中学校でできるかを検討してきたところでありますので、まずはそこでどれくらいの金額がかかって、いつ頃ならできるという話の中で他の場所も含めて検討していきますし、もっといいところ、もっとお金をかけなくても済むようなところがあれば当然そちらにいかなければいけないと思います。お金を使って、子どもたちがその借金を負っていく形になるわけで、そういったことは極力避けなければいけないと考えておりますので、この1年をかけてそういったところも検討していくことになると思っています。

Q : まず旧豊浜中学校跡地の修正案をお示ししていただいてから、それによってはほかの検討案をあげていく感じだと思うのですが、この旧豊浜中学校跡地にするかどうかの当初の説明会のときも通学路となる登り道が土砂災害警戒区域ではないかとか、土壌や地盤の対策が必要になってくるのではないかという懸念みたいなものは意見があがっていたと思うのです。南知多中学校も、面している山側は土砂災害区域だと思うのです。もしあそこに移すにしても法面を何か対策しないと新しく建てられないとかあるのかもしれないと考えていて、ではそちらも検討しましょうとなったときに、やっぱりこっちも法面触らないといけないなとなったときに、それでこれくらい価格がかかると比較したときにそのころにはまたどんどん建築費が上がっていると思うのです。なので、こうやって検討している間にとりかかったほうがどっちにしても費用がかかるから、だったら早めにとりかかったら良かったねとなることもあるかなと思うので、まずは旧豊浜の修正案を出していただくというのが筋としてはそうなのだと思うのですけれども、同時進行で他のところはどうかというの、同時に出していただいて早急に検討していただいたほうが物価高対策にはいいのではないかと感じました。

A：いわれる通りだと思います。ただし物価の上昇は今後どうなるか分かりません。上がるであろうという想定のもとになります。それに加え、南知多町の生徒数を見ていくと、クラス数が今後どうなっていくかが分からないところがあります。いま普通教室1学年3クラス、全体で9クラスを想定していますが、今後9クラスも必要なくなる可能性がでてくるだろうと思われれます。そのとき施設の規模自体も今後考えていかないといけない。そういったところも含めて全体的に、先ほど言いました通り内海も急傾斜がかかっています。事業費が必要になってくると思います。ですから内海だとか豊浜だとか他のところもあるかもしれませんが、やはり一度立ち止まってという言い方がいいのかわかりませんが、きちっと精査したなかで、今後のことを考えていくべきだと考えています。

Q：特別養護老人ホーム、南知多公園線の向かいですね、あそこかなりの面積があると思うのですが、師崎の駐車場になったりしていますけれども、あそこの敷地の利用計画はあるのかなど。現在は豊浜中学校を改修してということなのではと思いますが、あそこも地震対策などしてあるなかで、防災という格好で今後利用できればそれも一つかなという考えのもとにそのままにしておいて、豊丘にある広大な平地ですよ、造成もしてあり平地に何か利用する予定というのが町として考えられているのかどうかその辺をお聞きしたい。

A：馬道にある、旧新運動公園という平地だと思いますが、豊浜中学校の跡地は、いろんな意見をお聞きした中で決まってきたものです。こんなにこだわるのは色々な長い議論の中でいいと思って、そこでスタートした結果、人件費を中心とした物価の高騰と法面保護対策の必要性が出てきました。まず比較するために豊浜中学校で造る費用や大きさや時期を示さないと、次の違うところの学校を示すにしても比較するものはありません。そのために一旦豊浜中学校で造るということを示させていただきたい。それから、それに対してよりこっちのほうがいいのではないかというのは、まったくどんなことがあってもこちらにしなければいけないという訳ではありませんが、やはり長い期間皆様のお声を聴いて決めてきたものですから、大切にしたいということは基本でございます。できるだけ早くお示し、いやこれだったらあっちのほうがいいのかという議論があることはやぶさかではありません。

Q：いろんな議論と意見を踏まえて最適というか、一番今の豊浜中学のところに造るのがいいという結論を出されたというふうに思いますが、情勢がこれだけ変わって、いわゆる費用の面が大きいと思うのですが、1番というかベストじゃなくて、2番手3番手の案がもしあれば、そっちのほうにシフトしていかないと、常にベストを目指すと、1番は1番いいと思うのですが、なかなかそううまくいかないところがあるので、あえて2番3番がいいぞというものをこのあと検討していく考えはあるのでしょうか。

A：当初は旧豊浜中学校が1番だったと思います。ただ、これだけ情勢が変わりまして、法面工事の金額も必要になってきたということで、それが本来本当に、いま現状でいきます、1番なのか分からないところが出てきましたので、それを検討したなかで、最終的にここが1番だろう、それが旧豊浜中学校になるかもしれません。1番を抜き

にして、2番3番というのではなくて、また考えた中での1番で造っていくのがベストだと考えています。

Q：今立ち止まって考えるのは、工期の面とコストの面だと思いますけど、2年間で1.46倍にコストが上がってしまった。多分考えているうちにコストが上がると思いますが。また2年後1.4倍となったときに建設はできないという判断になる可能性はありますよね。いまで財政が一杯でできない、立ち止まって考えようとなっていますので。そうなるとコスト的に無理だという判断になるかもしれない。財政は26億が38億になってちょっと立ち止まって考える必要があるとなっていると思うのです。今後もコストは上がっていくので、もうできないという考えになってしまうということもあるという話で今日やっているのかどうなのかと聞きたいです。町税もだんだん減少していると思いますので、耐える力がありませんので、もうできませんというのも含めて考えているのかお聞きしたい。

A：今の南知多中学校は20年近くしか持ちません。再配置計画が実行されているところです。端的に言うと、令和10年に南知多中学校がこちらに移らなかった場合、多くの再配置計画も狂ってきます。内海小学校が南知多中学校に行くことになっていますし、その後の内海小学校を売却してもいいし、いろんな再配置計画が複雑に絡んで作られております。それも合わせて時間をくださいということでございますが、なにせ造らなければいけない大事なものは役場と学校です。これはどう考えても南知多町が南知多町としてなくてはならないものだと思っております、できないではなくて、どうしたら造っていけるかを考えていく、造らないという選択肢はないと思っています。

Q：美浜町が小中一貫校の計画を進めていると思うのですが、見直す中で、小学校も各地区に建て直す、補修するということになってくると、それもコストが想定されると思うのですが、そのころにはまた子どもも減っているだろうということで、南知多町で小中一貫校を検討することは可能性としてありえるのでしょうか。

A：基本的に小学校も老朽化しております。小学校の統廃合につきましては、少なくともみさき小学校の児童が在学中に2回統合することは避けたいと思っております、そのリミットが令和10年です。そういう中で小学校の統廃合も両島も含めて一つにできる方法を示すべきとか、やはり子どもたちにとって小学校1年生が船で通えるだろうかということもあります。したがって、みさき小と豊浜小と内海小だけでも、一緒にしたほうがいいのではないかという議論はいずれでてくるはずですが。いまの段階では先ほど申し上げました令和10年みさき小学校の子どもたちが在学中に統合を2回経験することがないようにというのが1つの目途と、それから、複式学級がでてくるということも合わせて一つの統合の時期を示さなければいけない時があるかなと思っております。小中一貫は教育的にどうなのかということも含めまして、私どもの結論はそういうことで、令和10年までに考えたいと、それから、もっと少子化が進むことになれば、小学校の統合を検討していく時期が来るということは感じています。

Q：南知多中学校は20年ぐらいしか持たないということでそこに造るのは難しいという感じだと思うのですが、例えば小学校もかなり古くなっていて統廃合が必要な時期が必ず来るということで、小学校と中学校を含めた、いわゆるどうあるべきかというのはもう一度やはりいま考える時期にあって、中学校を慌てて新設しなくても、南知多中学校でいままく進んでいるのであれば、ここは立ち止まって小学校も含めた老朽化に対する新しい考え方をもう少し時間をかけてやったほうがそのころの財政だとか、少子化だとか物価高騰だとか、それはかなり変わってくると思いますのでここで慌ててやるようには感じないのですが、どうでしょうか。

A：いわれる通りだと思います。昨年度南知多町で生まれた方が40名程度です。そういった中で今後、小学校の統廃合は進めていかなければならない問題です。中学校だけを見据えて学校の建設を考えていいのかということに対しましては、小学校も含めて考えていくべきだと思います。

Q：2つお聞きします。1つはA3のページの説明資料26億から38億、基本的に義務教育学校の施設補助というのは法律で決まっております、二分の一が国庫補助です。この26億が38億は国の国庫補助を想定してなのか、これには地方交付税化で既にこの部分は今後の地方交付税として入ってくるというところでこういうお金の出し方にしているのか。そこら辺の根拠をはっきりさせてください。もう1点体育館の工事が6億2千万最初のやつが、なぜこれは左と右の数字が違っているのでしょうか。

A：まず補助金や交付金を想定しているかということですが、この当初計画、基本計画の金額につきましては、そういったものを想定していません。あくまで事業費でございます。それと先ほど補助率といわれましたが、今まで国からの補助金は二分の一交付されたことはございません。国の枠の中で調整しているものですから、実態で行きますと、約五分の一程度だと思っております。あと体育館の金額が違うのではないかとこのところですが、図の下に※で基本計画時の単価金額には諸経費分の金額を含めておりますとありますが、左手につきましては、工事費の積算関係になっておりますので、共通仮設費や現場管理費一般管理費、こういったものが本来かかってきます。ということで、その部分をそれぞれ校舎、体育館に上乗せした形の金額としております。